令和７年（２０２５年）１２月号⑩

学校通信

和の光

宝塚市立西谷中学校

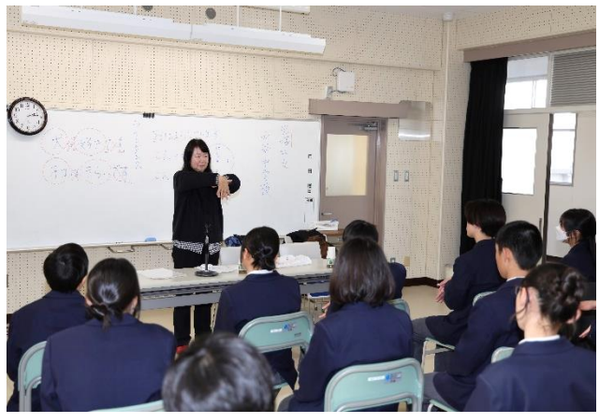
■手話講座～聴こえないってどういうこと～

福祉教育の一環として、加藤めぐみさんを講師にお招きして手話について学習をしました。講座の前半では、私たちが普通に使っている目覚まし時計が耳の不自由な方には使えず、振動で知らせる目覚まし時計を使っていること。幼い頃に学校で友達と会話ができずに困ったこと。２０代になって手話に出会い、使えるようになって世界が広がったことなど、貴重な経験を語っていただきました。その後、犬や猫などの動物・あいさつ・学校名について手話でどのように表現するのかを教えていただきました。下記に生徒のみなさんの感想を紹介させていただきます。

（１２月２３日）

・本日は私たち西谷中学生のために手話を教えていただきありがとうございました。私のいとこも耳が聞こえず、手話を通して会話をしています。実際にコミュニケーションをとっていると、伝わりづらいことが多くありました。ですが、今回の講座を通して、耳が不自由な人は生活していく上で多くの事に悩まされて、苦しく感じている時があると感じさせられました。なので、聞こえないからといって、会話をしないのではなく、手話や身振りで自分の気持ちや情報を交換していきたいと思います。社会に出た時に耳が不自由な人がいることを忘れず、多くの人を助け合える人間になりたいと思いました。（３年生女子）

・今日は手話講座をしてくださりありがとうございました。私は今までほとんど手話には興味がなく、耳が聞こえない人に関わる人だけが少し勉強していればいいと思っていました。でも、今日の話を聞いて考え方が変わりました。出かけた先で、耳が聞こえない人が困っていた時、助けられるような人になりたいです。今回いただいた資料で手話をたくさん学び、通訳さんがいなくても会話ができるように上達したいと思いました。（３年生女子）



動物や挨拶の仕方を手話で表現しています

・今日はたくさんの手話を教えてくださりありがとうございました。私は少しずつ耳が聞こえにくくなっていて、将来手話を使うことがあるかも知れないので、この講座を受けて学ぶことがたくさんありました。一つ一つの手話には深い意味があること、関東と関西で手話が異なる場合があることも分かりました。将来たくさんの人たちの笑顔のために、手話で助けることができるようになりたいと思いました。（３年生女子）

・今回、加藤さんのお話を聞いて強く印象に残ったのは、目覚まし時計の話です。加藤さんがいつも起きる時に、地震と勘違いするほど時計の振動が大きく、びっくりすると話していたのを聞いて、僕は今まで目覚ましの音が嫌いだったけれど、目覚ましの音で起きられるのは有難いことだと思いました。今回のお話を聞いて手話の大切さを知ることができました。（３年生男子）

・「サイレント」というドラマを見て、少しは手話に興味は持ったけれど、手話について深く調べたことはありませんでした。今回の講座で手話についてたくさん知ることができたので良かったです。手話で「宝塚市立西谷中学校」を紹介したり、「こんにちは」「こんばんは」など日常的なことを手話で表現したりすることができるようになりました。自分の名前や、自己紹介、将来の夢なども表現できるようになりたいと思いました。（３年生男子）

・手話は自分にはできないとか、指文字はとても難しいと思っていました。でも、実際に手話で「うさぎ」「いぬ」などの動物を表現するのを見ると、ある程度その動物の特徴を捉えているので、自分にも手話ができました。手話をやっているうちに自然に元気になり、楽しくなってきました。少し手話について興味がわいてきたので、ＮＨＫの手話番組を見たり、家族とも共有したりしたいと思いました。（３年生男子）

・僕も「サイレント」というドラマを少しだけ見たことがあり、手話があることは知っていました。だけど、手話は全然覚えていないし、覚えるには最低でも５年ぐらいはかかることを聞くと、耳が聞こえない人は大変だと思いました。講習で教えてもらった「犬」「猫」「うさぎ」「象」「ラッコ」などの手話もいつか役に立つ日が来るかも知れないので、忘れないためにも家に帰ってから少し勉強しておきたいと思いました。（３年生男子）

・僕はあまり手話とは関りがなかったので、今回の手話講座がとても新鮮に感じました。僕はドラマの「サイレント」を見ていたので、手話に一時期あこがれていたけれど、とても難しく挫折してしまいました。僕は耳が聞こえないということは経験したことがないけど、加藤さんは大変苦労されているのだと思いました。今回は手話講座を開催していただきありがとうございました。

（３年生男子）

・私は今、「サイレント」という耳が聴こえなくなった人のドラマを配信で観ていて、失聴者の方々は人と声で話せなかったり、電話ができなかったりと、大変だということを知って、手話に興味を持ったところだったので、貴重なお話を聞くことができて、凄く嬉しかったです。耳が聴こえないと後ろから来る車がとても怖いことが分かりました。もし、車を運転するようになったら気を付けたいです。言葉がたくさんあるのと同じように、手話もたくさんあるので覚えるのが大変だと感じました。また、手話には関西と関東で違うものがあることにも驚きました。今日、短時間にたくさんの手話を覚えられるように工夫して教えて下さり有難うございました。これから先使うことがあるかも知れないので覚えておきたいです。（３年生女子）

・講座の最後に挨拶させていただいた「●●」です。「◎◎」という字を書いて「●●」と読みます。確かに珍しい名前ではじめて会う人にはよく間違えられます。自分の名前を指文字だけで伝えることができて嬉しかったです。「名前」も関東の表し方と関西の表し方で違いがあることも初めて知りました。講座の終わりに、自分の名前も挨拶で伝えようと思って、過去の経験を思い出しながら挑戦しました。Silent のドラマを通して身に付いた知識が活かせたので、ドラマの影響力には驚きました。今日の講座で学んだことは私の宝物です。ありがとうございました。（３年生女子）

・私は「サイレント」というドラマで手話を見ました。そのドラマで、耳が聴こえる人が聴こえない人の役を演じていましたが、演技をしてみてとても大変だったと聞きました。私も、自分が聴こえなかったら苦労するだろうなと考えながら見ていました。これから何が起こるか分からないけれど、耳が聴こえなくなったら怖いなと思いました。耳が聴こえるって本当にありがたいことだと思いました。自分の自己紹介や誕生日などを手話で伝えられるようにしたいです。今日は遠い所まで来ていただきありがとうございました。（３年生女子）

・今日の手話講座は楽しみながら学ぶことができました。今日もらったプリントで自己紹介ができるように頑張ろうと思います。耳が聴こえない人にも寄り添っていこうと思います。今回はありがとうございました。（３年生男子）

・本日の講座を受けて、私は手話がもっと広まって欲しいと思いました。なぜなら、手話が広まることで、耳が不自由な人とのコミュニケーションができるようになるからです。また、耳が聴こえない人たちが交通事故にあいやすいと聞き、車を運転する側のマナーがもっと良くなる必要があると思いました。（３年生男子）

・手話を初めて知ったのは５～７歳の頃です。先生と友達が手話で会話するのを見たのが始まりで、何をしているのかと思いました。小学校と中学校で２回の手話講座を受けて、その意味が分かったときには、その時の先生と友人に手話で話せていたら良かったのに‥と思いました。今回の講座で楽しく手話が学べたので、さらに学んでマスターできるようにしたいです。（３年生男子）

・実際に手話を使っている人に出会ったことがなかったので、加藤さんのお話を聞けて、貴重な経験になりました。聴覚障碍者が車を運転していて事故にあうよりも、歩いている時に事故にあうことが多いと知りました。聴こえる人が聴覚障碍者のことを意識して行動することが必要だと思いました。（３年生女子）

・手話での会話は全部指文字だと思っていたので、一つ一つの単語に手話があることを知って驚きました。また、手話も言葉のように関東・関西のような違いがあることがあると分かり、相手の出身地が分かるのも面白いなと思いました。あいさつは「グー・チョキ・パー」で作られていて、日本語と同じようにしっかりと考えられているなと思いました。今回の講座は体感本当に短かったけれど「犬、猫、トンボ」などの動物や「お早う、今日は、今晩は」などの挨拶を覚えることができました。（３年生女子）

・はじめて加藤さんに出会って、耳の聴こえない人って本当にいるのだと気がつきました。私も「サイレント」というドラマを見て手話というものを知りました。生まれつき聴こえない人や、突然聴こえなくなることもあると知り、私はとても衝撃を受けました。聴覚を失ったら、他の子が話していることも分からないし、名前を呼ばれても分からない。聴覚はとても大切なものだと思いました。私は、障碍の有無に関わらず、好きな動画を見て自分で聴くことができるような機械が開発されるといいなと思います。（３年生女子）

・僕は小学生の頃、友達が図書室で借りていた手話の本を少し見たぐらいで、手話については詳しく知らなかったです。でも、今回の講座で動物や挨拶の仕方について教えていただき、手話に興味が持てました。これからは、図書室やネットで手話についてもっと調べて覚えたいです。
（１年生男子）

・手話という言葉は知っていたけれど、興味があまりなく内容までは詳しく知りませんでした。この講座を機に、「聴こえないこと」について考えていきたいと思いました。手話を実際にやってみると、簡単なものや難しいものもありましたが、楽しく学べました。貴重な時間をつくってくださりありがとうございました。（１年生男子）

・手話があるおかげで耳が聴こえない人も自由に生きることができる。手話を考えた人はすごいと思いました。通訳の人が手話の素早い手の動きを読み取って通訳していたので凄いなと思いました。（１年生男子）

・手話のやりかたの説明を聞いて、こんなに覚えないといけないことがあるのだと驚きました。耳が聴こえない人用の目覚まし時計があることを聞いてすごいなと思いました。僕も音楽を聴くことがよくありますが、「音楽が聴こえなかったら悲しいし苦しい」という言葉が心に響きました。
（１年生男子）

・私は今まで手話について興味があまりなかったけれど、今日の手話講座を聞いて、「手話って楽しいな」と思いました。手話って難しくて覚えるのが大変だけど、楽しく教えてもらえて良かったです。私はこれからも手話を覚えていろんな人に広め、お話をしてみたいと思いました。今日は有難うございました。（１年生女子）

みんなとても楽しそうに手話で表現しています